

令和5年度学校評価シート(後期)

R6.2.26

学校目標:いのちと人権を大切にし、ふるさとを愛し　こころ豊かで夢に挑戦する　自立した生徒の育成

評価計画						自己評価						新改善計画		学校関係者評価	
観点	項目	具体的方策	評価指標	目標値 (昨年度)	前期評価	達成値 (今年度)	評価アンケート			昨年 評価	評価			コメント	
確かな学力の定着	目標を持った学校生活	夢や目標の意識化	目標を持って取り組んだ生徒の指数昨年度以上	2.1	2.2	2.5	2.5	2.3	2.2	B	A	①多可町10ポイントを軸とした授業スタイルの構築。②「加美中学習スタイル」の意思統一と徹底。③実効的な小中連携体制の構築と実践。④家庭学習強化週間の実施と、「家庭学習の手引き」の有効活用ならびに学習相談日の実施。⑤計画的な研究授業の実施と保護者への周知。⑥授業時数の確保と反復練習による基礎学力の定着。⑦学力向上プランの作成実行。⑧スタディサプリを継続的に活用した個別最適化学習の促進	家庭学習について、生徒の評価ははそう低いわけでもない。このずれをどう考えているのか職員間で共有していただきたい。すでにされていると思うが、家で学習したことを提出する際の見える化をどう図るか。例えば日々の自主ノートなどをたとえ1ページでも、担任以外が見て、個々の学習状況を見るのもよいのではないか。また、教科ごとに課題の完成度に関して教師側と子供のずれがある可能性もある。それを丁寧に生徒に伝えるのもよい学習ではないか。さらに、自主学習等について本当に宿題が必要なのかを考え直す必要もあるだろうし、今後の個別最適に向けてスタサプなどをさらに活用するのもよいだろう。		
	読書の推奨	読書記録による表彰	年間読書量12冊以上の生徒数昨年度以上	29		24				B	B				
	家庭学習の習慣化	「家庭学習の手引き」活用と啓発	家庭学習をしている生徒の指数の昨年度以上	2.0	1.9	1.9	1.4	2.3	2.1	B	B				
	楽しく分かりやすい授業	計画的な授業公開による授業改善	授業が楽しく分かりやすいと感じる生徒の指数昨年度以上	2.1	2.1	2.2	2.6	2.1	2.1	B	A				
	学力の向上	学力向上プランを活かした授業改善	調査結果を生かした授業改善を評価する教員の指数一昨年度以上	2.5	2.3	2.3	2.3			A	A				
豊かなこころ	道徳教育の充実	年1度の授業公開と学年団の授業	道徳指導の工夫改善をした教員の指数昨年度以上	2.6	2.2	2.2	2.3	2.4	2.0	A	B	①道徳の時間数確保と学年団による道徳の指導。道徳授業の公開と研究授業の実施。②PDCAによる学校行事の工夫改善と授業時数確保を目的とした行事の精選。③キャリア教育の年間計画や人権教育の全体計画の実行。④ボランティア活動の再構築。⑤生徒会による各種キャンペーンの実施ならびに表彰。⑥学年を超えた縦割り掃除の実施、掃除分担区の見直しと黙々掃除の実施及び清掃指導場所の明確化。⑦手伝いの奨励や個々の生活スケジュール計画など、家庭での生活状況の啓発。⑧定期的な生活状況調査の実施。⑨中ボラの促進	ボランティア活動について、特に保護者の評価が低いのが気になる。生徒たちはボランティア活動と思っていない場合もあるだろうし、家庭でボランティアなどの活動を親と話し合わないことも原因ではないか。最近まではコロナ禍で活動に行く場所もすくなかったし、その分生徒たちに自己有用感がないのではないか。月ごと中ボラに参加したり、サマーボランティアで施設の草引きや窓ふきなども行っている。生徒会で能登に募金をしていると聞くので、生徒からの発信も必要だと考える。また、新しく取り組んでいる縦割り清掃の評価も家庭には伝わっていないのではないか。生徒数が減って、清掃分担が十分にできない中、グラウンドの草引きなどもしゃべらないでよく頑張ると聞く。子供は家と学校では違う。時間や清掃について、親としては、自分の子供に頑張してほしいとは厳しく評価するのではないか。家で朝起きれなかったり、部屋が掃除できていないことも評価に入っているかもしれない。		
	ボランティア活動の充実	ボランティア活動の場の設定と記録の保存	ボランティア活動に取り組む生徒の指数昨年度以上	1.2	1.5	1.7	2.1	1.5	1.3	C	B				
	規範意識の育成	道徳の授業を重視した学級経営	きまりを守る生徒の指数2.5以上	2.6	2.5	2.6	2.6	2.7	2.5	B	A				
	挨拶の習慣化	学校だより等による賞賛や生活三訓の掲示等による意識付け	学校家庭地域で挨拶をする生徒の指数2.5以上	2.6	2.5	2.5	2.5	2.7	2.4	B	B				
	時間の遵守	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会生活部との連携	学校で時間を守る生徒の指数2.5以上	2.5	2.2	2.3	2.4	2.5	1.8	B	B				
	美化意識の高揚	生活三訓の掲示等による意識付けと生徒会美化部との連携	清掃を一生懸命する生徒の指数昨年度以上	2.6	2.2	2.3	2.4	2.6	1.9	B	B				
	学校行事の工夫改善	行事評価による工夫改善	学校行事を工夫改善した教員の指数昨年度以上	2.1	2.3	2.4	2.2	2.8	2.4	B	A				
健やかな体	SNS運動の取組	生徒会による新ルールの周知と家庭や町教委と連携した取組	生徒のSNS運動取組の指数昨年度以上	1.8	1.7	1.9	1.8	1.8	2.0	C	B	①GIGAスクール構想にともなうネットリテラシーの継続指導と、生徒会とタイアップした自治的活動によるSNSルール遵守活動の促進。②体力向上委員会をふまえた体力向上プランの実行。③危険予測力向上をめざした多様な想定での訓練等の実行。	学校保健委員会で5月の定期歯科検診について分析してほしい。歯科検診で受診勧告を受けたのに治療していない家庭が多いのはなぜか。習い事や親の忙しさ、経済的理由で治療に行かない選択をしているのではないか。統合して口腔崩壊の生徒がいれば一気に感染症が広がる場合も想定できる。医療であれば町で無償なのでそういう啓発も必要なのではないか。さらに、同時に食育も進めてほしい。		
	柔軟性向上とケガ防止	学校保健委員会のケガ防止プランの実行	日本学校スポーツ振興センターにかかるケガの総件数(4月～1月)昨年度以下	32		16				B	A				
	防災安全への取組	多様な想定での訓練等の実施	生徒の災害事故への心構えの指数昨年度以上	2.4	2.2	2.4	2.4	2.5	2.4	A	A				
信頼に応える学校	学校の情報公開	便りやHP(*3)で積極的情報発信	情報公開を評価する保護者の指数2.5以上	2.5	2.3	2.5	2.6	2.4	2.4	A	A	①SC等のより一層の活用。(授業・研修・不登校生徒等の相談)②窓口を一本化し、関係機関と適切に連携。③ケース会議を定例化するなど組織対応の強化と共有化を図る。④生徒支援(不登校)委員会の定例化。⑤地域のゲストティーチャー等地域素材や人材のより一層の活用。⑥生活相談シートの活用	全体の中でふるさと教育の数値が低いのが気になる。しかし前年度に比べて評価がよくなっている。町の目指す「ふるさと教育」とはどういうことか。多可町に永住移住させることだけが目的ではないだろう。町を出ていても「ふるさと」多可町の魂をもって活動している人もいる。今はネットで仕事をする時代になっている。どこにいてもその方の努力を認めてあげて、いつでも帰って来れる風土も必要ではないか。小学校には「ふるさと教育」専用冊子があると聞く。中学校の教育課程ではしにくい場合があるので、教科の中で工夫してはどうか。また、教師の手を煩わせることなく、キャリア教育の一環としてゲストティーチャーにて協力してもらうのもよいのではないか。		
	教育活動への満足度	保護者の声に真摯に耳を傾け迅速対応	保護者の教育活動満足の指数昨年度以上	2.3	2.3	2.5		2.6	2.4	A	A				
	特別支援教育の推進	専門性を活かした適切な教育支援	特支C・SC等を活用した支援を評価する教員の指数昨年度以上	2.3	2.2	2.4	2.4			A	A				
	ふるさと教育推進	関係機関等と連携したふるさとの教育資源の積極活用	ふるさと教育資源活用を評価する教員の指数昨年度以上	1.8	1.5	2.2	2.2			C	A				
	不登校いじめ防止の取組	関係機関との連携による不登校対策といじめ防止基本方針の実行	不登校いじめ防止の取組を評価する教員の指数昨年度以上	2.6	2.6	2.6	2.6			A	A				
学校目標	人権尊重力	生活ノートや生活相談シートでのいじめの早期発見と対応	人権を尊重する生徒の指数昨年度以上	2.5	2.3	2.4	2.4	2.5	2.3	A	B	生活相談シートの活用と対策委員会の定例化。 関係機関と連携したふるさと教育推進。 3年間のキャリアノートの作成活用。 教師の支援による生徒会リーダー研修会などによる生徒会活性化。	新たな人権課題に積極的に取り組んでいると聞いている。これからは加美中学校だけでなく、3校が集まることを視野に入れていかなければいけない。人間関係も難しくなるだろうし、始まってみないとわからないことがあるだろう。また、統合に向かう親の不安もある。現に新入生は第一子が多く親同士の交流がないし、さらに部活が移行して人のつながりがなくなること心配ではある。こども園でも少ない人数で過ごしているが、今後大勢の中で力を出すためには、「ゆめ挑戦力」や「自立力」が必要になるので頑張っていたきたい。		
	ふるさと力	関係機関との連携によるふるさと教育の場の設定	ふるさとを尊重する生徒の指数昨年度以上	2.3	2.1	2.3		2.3		A	A				
	ゆめ挑戦力	キャリアノートの作成活用	ゆめに挑戦する生徒の指数昨年度以上	2.4	2.4	2.5		2.5		A	A				
	自立力	教師の支援による生徒会リーダー研修会による活性化	自立につながる行動や考えを持つ生徒の指数昨年度以上	2.3	2.2	2.3		2.3		A	A				

※1 生活三訓とは「時を守り・場を清め・礼を正す」こと。※2 PDCAとはプラン(計画)ドウ(実行)チェック(評価)アクション(改善)の略 ※3 HPとはネットのホームページの略

※4 SCとはスクールカウンセラーの略称。※5キャリア教育とは望ましい職業観・勤労観等を身につけ、自己の個性を理解し、主体的に進路選択する能力・態度を育てる教育

※ 目標値・・・・・・昨年度の評価指標の実績
達成値　・・・・・・本年度の評価指標の実績
自己評価指数　・3:よく当てはまる　2:当てはまる　1:あまり当てはまらない

※評価値・・・・・・A　非常によい(全項目2以上かつ目標クリア)
B　よい(未達成項目があるもほぼクリアしている)
C　今後改善を検討していく(2項目未達成)

※評価アンケート実施時期は昨年度同様、
・10月の中間アンケート
・1月の後期アンケートの2回とする。
※ケガの発生については1月末現在、
※読書調査については2月末現在の数値とする。